

宇治市植物公園あり方検討委員会 委員意見（抜粋）

植物公園の存在意義、効果等に関すること

- ・都市公園としては残すが植物公園としては機能を0にしてしまうところから、現状をほぼそのまま維持するというところまで、どのあたりに最終的な結論をまとめていくのか、明確にしなければならない。
- ・植物公園は都市の格を上げる施設である。
- ・開園してから入場者数がほぼ横ばいというのは相当優秀。
- ・立派であり、是非残したい施設。
- ・自然を体験して学ぶにはとても良い場所、癒される良い施設

維持管理全般に関すること

- ・非常に管理が良く行き届いている。
- ・（公財）宇治市公園公社に継続して施設管理させるのが望ましい。
- ・今かかっている経費を継続して負担していくのは市として負担が大きい。
- ・敷居が高いイメージがある。
- ・コスト面を考えるとフルスペックは必要ないとの覚悟は必要。
- ・単なるコストダウンからは何も良いものは生まれない。
- ・植物公園の評価は市全体の評価ではない。収益を上げて市民理解が得られるような施策の実施を。
- ・サウンディング型市場調査では、民間ならではの魅力ある提案があった。活用について検討を。
- ・植物公園を収益施設とするのか、市民のための施設とするのか整理が必要。

施設・運営に関する具体的な施策に関すること

- ・観光客を呼び込むような手立てが必要。
- ・民間や市民からの資金調達策の活用を検討。
- ・イベント会場として活用を広げる。
- ・一番の売りにしていた花と水のタペストリーを常緑化する意図が不明。
- ・入園料が高過ぎる。さらに駐車料金が必要となると負担が大きい。
- ・ベンチや子供用のトイレの整備など最低限の改修が必要。
- ・グッズ販売や軽食等が食べれる施設の整備。
- ・広報活動の強化が必要。
- ・維持管理費の削減のためには温室の取り扱いを整理する必要がある。
- ・温室は他施設にない特徴があり評価が高く、安易に廃止すべきではない。